

財務計算テキストチェックゼミ 第5回

テキスト③1～3・11章、④第1・2章
リース（その1～その3）、四半期財務諸表、引当金、社債

資格の学校
TAC

オンライン開催
2023.7.8

ゼミ参加における注意点（再掲）

- ◎ 問題演習（アウトプット演習）は必須です！こちらは本ゼミでは行えないので、必ず自身で行ってください！
- ◎ パネリスト参加がおすすめです！緊張感の中でテキストの内容を思い出す練習ができます！緊張しやすい方には特におすすめします！
- ◎ 必ず予習をする！！予習不十分の状態でパネリスト参加はやめてください！参加型のゼミなので、他の人の迷惑になります・・・
- ◎ 必ず復習をする！！ただし、必ず「テキスト」に戻るようにしてください！使用したレジュメは配信しますが、あくまでも補助教材です。丸暗記×
- ◎ 本ゼミはあくまでも補助教材なので、通常講義やトレーニング演習を優先すること（入門生よりも再受験者推奨！！）

ゼミ運営のルール（再掲）

- ① 12月必ず合格する！！
- ② 当てられたら必ずミュートを解除してください！！
- ③ 当てられていないときも、当てられたつもりで、答えを考えましょう！
- ④ 質問は最後にまとめて受けます！！
わからないことはなるべくこの時間に解消しましょう。
- ⑤ まだまだ試行錯誤のところがあるので、不手際等あれば申し訳ありません。
- ⑥ ゼミとは別で自分自身で計算演習は進めること。
- ⑦ 参加者が多いと全員当てられない可能性もあります。
- ⑧ 悪口などは絶対に禁止をお願いします！！

ゼミ運営のルール（再掲）

- ⑨ ゼミとは別に計算演習は必ずしてください！
 - ⑩ 質問中はテキストを見てはいけません。全部終わってからテキストを開いてください。
 - ⑪ わからなかったことを後で確認できるように何かメモする紙があったほうがいいです。
スライドは配信するので、メモを取り過ぎてゼミを聞いていないことのないようにしてください！
 - ⑫ 電卓も持ってきてください！
 - ⑬ 勉強仲間がいる人は友達同士でもゼミをやってみましょう！
 - ⑭ 他の科目でも、テキストを見ずに思い出すという勉強法は活用できますよ！
 - ⑮ Twitterやっている方は「#テキチエ」で感想をつぶやいてくださいー！！
- ※ テキストチェックゼミ、名前が長いので「テキチエ」を略称にします～

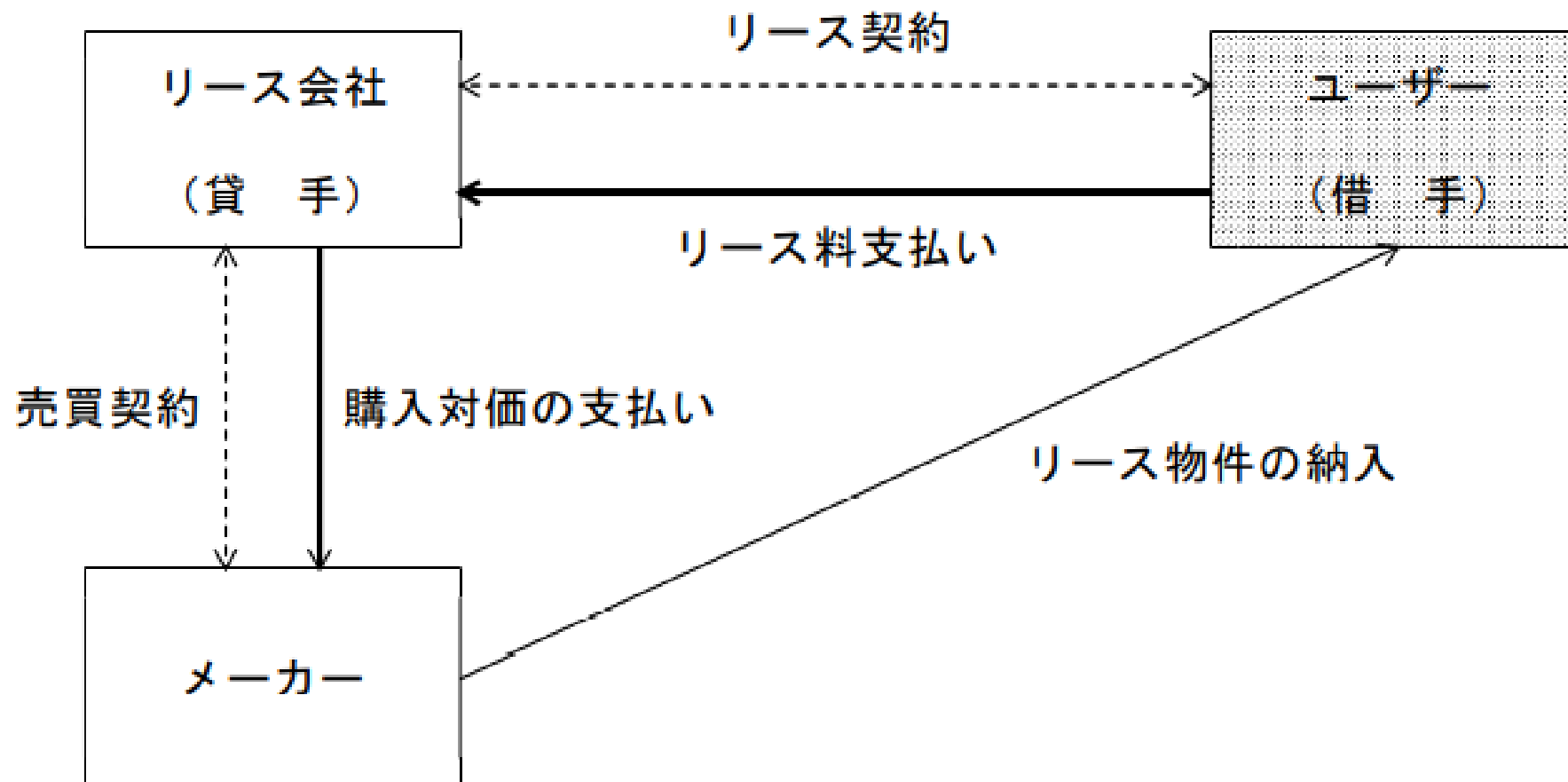
テキスト③第1～3章 リース取引

Q

TAC

リースとはどのような取引なのか
説明してください。

(使うキーワード→借手、貸手、
メーカー、図示できればOKです)



Q

TAC

ファイナンス・リース取引について、
借手側のリース開始時及び
リース料支払時の仕訳を教えてください。

A ・リース開始時

TAC

(借) リース資産	xxx	(貸) リース債務	xxx
-----------	-----	-----------	-----

・リース料支払時

(借) 支払利息	xxx	(貸) 現金預金	xxx
リース債務	xxx		

※TX③〔例題1－1〕

ファイナンス・リース取引については
経済的実態を重視し、
通常の「売買取引」に準じて
会計処理を行うが、
通常の固定資産の購入と異なり、
なぜ「リース債務」を計上するのか
説明してください。

資産の代金について、
リース取引開始日において支払ったわけではなく、
リース期間にわたってリース料を支払っている。

そのため、経済的実態はリース会社（貸手）と
借入契約を行ったと考え、負債を計上する。

Memo: リース契約は購入と借入を同時に行ったと
考える。

Q

TAC

ファイナンス・リース取引について、
借手側のリース料支払時の
仕訳の意味を説明してください。

A リース料支払時

(借) 支 払 利 息	×××	(貸) 現 金 預 金	×××
リ ー ス 債 務	×××		

リース料を利息相当額（支払利息）と
元本返済分（リース債務）に分けている。

※TX②〔例題5－3〕，

理論TX第9章Ⅲ. 2.

Q

TAC

ファイナンス・リース取引について、
会計上注意する点を挙げてください。

A

TAC

借手or貸手
流動固定分類
所有権移転or移転外
リース料前払い
維持管理費用
残価保証

Q

TAC

リース取引について、
ファイナンス・リース取引と
判断する要件は何か答えてください。
またそれらの判断基準を
具体的に挙げてください。

A

要件

1. ノンキャンセルブル（解約不能）
 2. フルペイアウト
- 2つともを満たすもの！

判断基準

1. 現在価値基準（90%以上）
2. 経済的耐用年数基準（75%以上）

いずれかに該当する場合

※TX③〔補論1－1〕

理論TX第9章Ⅱ. 1.

Q

以下のファイナンス・リース取引について所有権移転の有無を判断してください。

- ・所有権移転条項なし
- ・リース期間終了時に借手がリース物件を割安価額で購入できる選択権が付与されており，借手はこの有利な購入選択権の行使を予定している。
- ・リース物件は特別仕様ではない

A

TAC

所有権移転ファイナンス・リース

次のいずれかに該当する場合は所有権移転ファイナンス・リース取引となる。

- ① リース契約上、リース期間終了後又はリース期間の途中で、リース物件の所有権が借手に移転することとされているリース取引
- ② リース契約上、借手に対して、リース期間終了後又はリース期間の途中で、名目的価額又はその行使時点のリース物件の価額に比して著しく有利な価額で買い取る権利 (割安購入選択権) が与えられており、その行使が確実に予想されるリース取引
- ③ リース物件が、借手の用途等に合わせて特別の仕様により製作又は建設されたものであり、当該リース物件の返還後、貸手が第三者に再びリース又は売却することが困難であるため、その使用可能期間を通じて借手によってのみ使用されることが明らかなリース取引

理論TⅩ第9章Ⅲ. 1.

Q

TAC

リース資産について、
どのように減価償却を行うか
説明してください。

	耐用年数	残存価額	償却方法
所有権移転 ファイナンス・リース	経済的使用可能予測期間 (通常の耐用年数)	自己資産と同一	自己資産と同一
所有権移転外 ファイナンス・リース	リース期間	ゼロ	定額法等

※TX③〔例題1－3〕

Q

TAC

ファイナンス・リース取引において、
リース資産の計上価額の算定方法を
教えてください。

	当該リース物件の貸手の購入価額等が	
	明らかな場合	明らかでない場合
所有権移転 ファイナンス ・リース取引	貸手の購入価額等 (＝リース料総額の割引現在価値)	・見積現金購入価額 ・リース料総額の割引現在価値 → いずれか低い価額
所有権移転外 ファイナンス ・リース取引	・貸手の購入価額等 ・リース料総額の割引現在価値 → いずれか低い価額	

※TX③〔例題1－5〕

所有権移転外ファイナンス・リース取引について、
「利息相当額を控除しない方法によること」とした場合、
下記の条件でリース資産計上額がいくらとなるか
教えてください。

1. リース会社と機械のリース契約（所有権移転外）をした。
2. リース料年10,000円
3. リース期間5年

A 50,000円

TAC

(=リース料10,000円×5年)

利息相当額を控除しない場合、
リース料総額がリース資産計上額となる。

Memo: 割引計算はリース料に含まれる
利息相当額を控除している。

※TX③〔応用1－2〕

理論TX第9章Ⅲ.2.(1)

Q

TAC

利率が5%，期間2年のとき
現価係数と年金現価係数を求めてください。
(小数点第4位四捨五入)

現価係数

$$0.907 \quad (= 1 \div 1.05^2)$$

年金現価係数

$$1.859 \quad (= 1 \div 1.05 + 1 \div 1.05^2)$$

※TX③〔例題1－7〕

第1章COFFEE BREAK

Q

TAC

オペレーティング・リース取引に関して
どのような会計処理を行うか
説明してください。（仕訳も）

賃貸借処理

リース料支払時に当該支出額を「支払リース料」勘定で処理し、損益計算書上「販売費及び一般管理費」に計上する。

(借) 支 払 リ ー ス 料	× × ×	(貸) 現 金 預 金	× × ×
-----------------	-------	-------------	-------

※TX③〔例題1－8〕

Q

TAC

ファイナンス・リース取引で
リース料を前払いする場合について、
後払いをする場合の処理との違い
を教えてください。

第1回目のリース料の支払いは
「全額、元本であるリース債務の返済」とする。
支払ったリース料に関する資金は利用しておらず、
当該リース債務にかかる利息は発生していないため。
支払利息は未払利息として計上する。
リース期間中に発生している利息相当額は
次回のリース料で支払うため。

※TX③〔例題1－10〕

Q

TAC

セール・アンド・リースバック（ファイナンス・リース・借手）について①取引時と②決算時に行う会計処理を説明してください。

①取引時

- ・資産の売却の処理を行いリースの対象となる物件の「売却損益」を「長期前払費用」又は「長期前受収益」として繰延処理する。
- ・リース資産及びリース債務を計上する。（所有移転の場合、売却価額がリース資産となる。）

②決算時

「長期前払費用」又は「長期前受収益」を減価償却費に加減する。

※TX③〔例題1－1 1〕

Q

TAC

ファイナンス・リース取引における
借手について、
維持管理費用がある場合の注意点を
挙げてください。

A

TAC

- ・維持管理費用相当額は原則として割引現在価値の算定に当たりリース料総額から控除する。
- ・元本の返済（リース債務の減少）はリース料から維持管理費用相当額及び利息相当額を控除した金額となる。
- ・P/L 販売費及び一般管理費となる。

※TX③〔例題2－1〕

Q

TAC

ファイナンス・リース取引における
借手について、残価保証がある場合の
注意点を挙げてください。

- ・残価保証額は原則として割引現在価値の算定に当たりリース料総額に含める。
- ・残価保証の取決めがある場合には原則として、残価保証額を残存価額として減価償却を行う。

※TX③〔例題2－2〕

ファイナンス・リース取引における
貸手の会計処理について、
所有権移転と所有権移転外での処理の
相違点を説明してください。

所有権移転ファイナンス・リース取引

⇒リース債権

所有権移転外ファイナンス・リース取引

⇒リース投資資産

Q

TAC

貸手の処理は3つあるが、
貸借対照表及び損益計算書における
共通点を答えてください。

- ・ 利益に対する影響額が同額（利息相当額）である。
- ・ リース債権（または投資資産）の金額が同額となる。

※TX③〔例題3－1〕

所有権移転ファイナンス・リース取引における貸手の場合、リース取引開始日に売上高と売上原価を計上する方法を採用しているとき、リース取引開始日及び各年度の決算日における仕訳を説明してください。

1. リース取引開始日

(借) リース債権	×××(*1)	(貸) 売上高	×××
(借) 売上原価	×××(*2)	(貸) 買掛金(*3)	×××

(*1) リース料総額

(*2) 購入価額

(*3) リース会社がメーカーからリース物件を掛で仕入れたことを意味する。

2. 決算時（リース取引開始年度）

(借) 繰延リース利益繰入	×××	(貸) 繰延リース利益	×××(*4)
---------------	-----	-------------	---------

(*4) 次期以降に帰属する利息相当額

3. 決算時（2. リース取引開始年度よりあと）

(借) 繰延リース利益	×××(*5)	(貸) 繰延リース利益戻入	×××
-------------	---------	---------------	-----

(*5) 当期に帰属する利息相当額

A

【追加解説】

TX③〔例題3－1〕より

TAC

× 1	× 1	× 2	× 3	× 4	× 5	
1/1	12/31	12/31	12/31	12/31	12/31	
12,000 (*3)	12,000 (*3)	12,000 (*3)	12,000 (*3)	12,000 (*3)	12,000 (*3)	売上高 +60,000
8,799	9,362	9,962	10,599	11,278		売上原価 △50,000
50,000 (*2)	41,201 (*7)	31,839 (*9)	21,877	11,278	0	
3,201 (*6)	2,638 (*8)	2,038	1,401	722		繰延リース 利益繰入 △6,799

当期の
利益
+3,201

売上高60,000－売上原価50,000－繰延リース利益繰入6,799＝3,201
→当期の利息相当額3,201が利益に対する影響額となる！

所有権移転ファイナンス・リース取引における貸手の場合、リース料受取時に売上高と売上原価を計上する方法を採用しているとき、リース取引開始日及びリース料受取時における仕訳を説明してください。

1. リース取引開始日

(借) リース債権	×××(*1)	(貸) 買掛金	×××
-----------	---------	---------	-----

(*1) 購入価額

2. リース料受取時

(借) 現金預金	×××	(貸) 売上高	×××(*2)
(借) 売上原価	×××(*3)	(貸) リース債権	×××

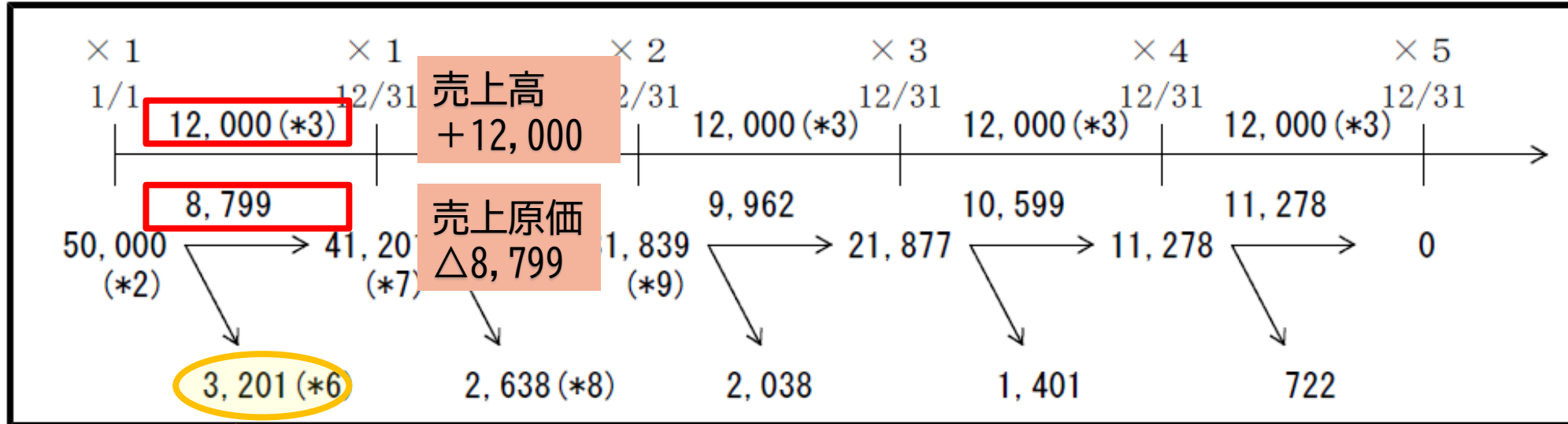
(*2) 受取リース料

(*3) 受取リース料－利息相当額

A

【追加解説】 TX③〔例題3－1〕より

TAC



当期の
利益
+3,201

売上高12,000－売上原価8,799＝3,201
→当期の利息相当額3,201が利益に対する影響額となる！

テキスト④第1章 引当金

下記の①及び②に当てはまる要件を答えてください。

引当金の4要件は

①？

②？

③発生の可能性が高いこと。

④その金額を合理的に見積もることができること。

引当金の4要件は

- ① 将来の特定の費用又は損失に対するものであること。
- ② その発生が当期以前の事象に起因していること。
- ③ 発生の可能性が高いこと。
- ④ その金額を合理的に見積もることができること。

※理論 T X 第12章 II. 2.

Q

TAC

賞与引当金について、
P/L における

①「賞与引当金繰入額」及び

②「賞与」は

どのような金額となるか説明してください。

①賞与引当金繰入額

当期発生分かつ次期に支給する金額

②賞与

当期発生分かつ当期に支給する金額

※TX④〔例題1－1〕

Q

それぞれの引当金に関して

①繰入額のP/L上の区分及びB/S 上の計上区分を答えてください。

A 賞与引当金

B 特別修繕引当金

C 貸倒引当金

- A 賞与引当金 ①販管費②流動負債
- B 特別修繕引当金 ①販管費(製造原価)②固定負債
- C 貸倒引当金 ①下記参照②資産の控除
- 対営業債権 …販管費
- 対営業外債権…営業外費用

テキスト④第2章 社債

Q

TAC

償却原価法を採用している社債を
償還期限前に償還した場合、計上される
社債償還損益の金額を説明してください。
なお、下記の2つの言葉を
必ず使用してください。

「端数利息，利付相場」

A 期首から償還時までの償却額を計算し、
償還時の償却原価を計算する。
償還時の簿価と買入価額の差額を
社債償還損益とする。
なお、買入価額は裸相場であり、
利付相場から端数利息を控除した金額である。

※TX④〔例題2－3〕，〔例題2－4〕

Q

TAC

端数利息の算定方法を説明してください。

直近の利払日の翌日から償還日までの利息（クーポン利息分）

※TX④〔例題2－4〕

償却原価法（定額法）を採用している社債（前期発行）の一部を償還期限前に償還した場合、計上される社債利息の金額を説明してください。

A

TAC

償還分・・・

期首から償還日までの償却額及びクーポン利息

未償還分・・・

期首から期末までの償却額及びクーポン利息

※TX④〔例題2－4〕

Q

TAC

抽選償還は
どのように償還を行う方法か
説明してください。

A

TAC

一定期間ごとに
「分割して」償還を行う方法。

Q

TAC

抽選償還の利息法、定額法について
どのように会計処理を行うのか
説明してください。

A 利息法…償却額の計上後、
元本償還分を引いた後の金額を
期末の帳簿価額とする

※TX④〔例題2－3〕

定額法…償還時期の異なるものごとに
償却額を計算する。

※TX④〔例題2－3〕

テキスト③第1 1章 四半期財務諸表

四半期財務諸表における税金費用の計算について、四半期特有の会計処理が認められる。その会計処理を説明してください。

$$\text{法人税等} = \text{税引前四半期純利益} \times \text{見積実効税率}$$

$$\text{見積実効税率} = \frac{\text{予想年間税金費用(*1)}}{\text{予想年間税引前当期純利益}}$$

(*1) (予想年間税引前当期純利益 ± 永久差異) × 法定実効税率 − 税額控除

(注) 見積実効税率の算定においては、一時差異に該当しない差異（永久差異）及び税額控除を考慮する点に注意すること。

※TX③〔例題1 1－1〕

当社は標準原価計算を採用している。第1四半期における標準原価が50,000円であり、実際原価が43,000円であった。このとき、決算整理前残高試算表において原価差異は【借方or貸方】に計上される。

【】内にあてはまる語句を選択してください。

貸方残高

（実際を標準に合わせ，相手勘定を「原価差異」と計上している。）

※TX③〔例題1 1－3〕

Q

第一四半期末決算整理前残高試算表において計上された原価差異 7,000（貸方残高）について，発生原因は季節変動による操業度差異であり，年度末には解消予定であるため，繰延処理をする。

繰延処理に関する仕訳を答えてください。

繰延処理に係る仕訳

(借) 原 価 差 異	7,000	(貸) その他の流動負債	7,000
-------------	-------	--------------	-------

※TX③〔例題1 1－3〕

Q

TAC

原価差異については、原価計算基準に従い、【 ？ 】に計上する。

A 売上原価

- ・原則：売上原価
- ・四半期特有の処理：

四半期では特有処理として繰延処理（その他の流動資産or負債として繰延べ，年度末において繰り延べてきた原価差異を売上原価に振り替える。）が認められる。

※TX③〔例題1 1－3〕